

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千六百九十六號

昭和十九年五月二十三日(火)

海軍大臣官房

○ 通 牒

官房機密第三四二號

昭和十九年五月二十二日

海軍省副官

關係各廳長殿

内令提要別冊(定員關係)ノ制定配付ニ
關スル件申改正ノ件通牒

官房機密第七六號申進首題ノ件中「海軍施設本部」ノ
下ニ「海軍電波本部」ヲ、「各防備隊」ノ下ニ「各
潜水艦基地隊」ヲ加シテ候

○ 辭 令

○昭和十九年五月十日

情報局屬 中野 美松

任海軍屬兼海軍書記

給六級俸

(各通)

任海軍書記

給三級俸

小野寺喜代見
赤間 勝雄

任海軍書記

給四級俸

中村 武夫

任海軍書記

給六級俸

重山 鶴一

任海軍書記

給月俸七拾圓

山口 賢二

任海軍書記

給七級俸

矢田 保

(各通)

任海軍書記

給月俸六拾圓

青田 農夫雄
鈴木 進

海軍公報(部内限) 第四千六百九十六號 昭和十九年五月二十三日

七五五

0817

任海軍書記 給八級俸	長谷川 重光	任海軍技手 給三級俸	東京都技手 石原 武夫
任海軍錄事 給六級俸	裁判所書記 川 尻 清	(各通)	吉田 清美
任海軍監獄看守長 給五級俸	海軍監獄看守 野口 尙武	(各通)	福地 嘉次郎
		(各通)	西岡 由春
		(各通)	稻岡 久夫
		(各通)	岩崎 仙太郎
		(各通)	川本 愛藏
		(各通)	松江 春義
		(各通)	橋本 長之助
		(各通)	古池 繁好
		(各通)	任海軍技手 給五級俸
		(各通)	氣象技手
		(各通)	坂井 繁明
		(各通)	松本 繁夫
		(各通)	廣庭 忠
		(各通)	小田 弘志
		(各通)	筒井 庄爾
		(各通)	熊谷 秀雄
		(各通)	佐野 護
		(各通)	入杉 源次郎
		(各通)	岡本 真一
		(各通)	横山 忠
		(各通)	松岡 久生
		(各通)	岸本 隆夫
		(各通)	北條 定
		(各通)	石崎 美代夫
		(各通)	難波 朝男
任海軍技手 給六級俸			

任海軍技手	(各通)	塩川 敬昂
給月俸七拾圓		田村 久男
任海軍技手		伊東 幸一
任七級俸		
海軍大臣官房附ヲ命ス	海軍屬	中野 美松
(各通)	海軍書記	小野寺喜代見
横須賀鎮守府附ヲ命ス	同	赤間 勝雄
水路部附ヲ命ス	同	中村 武夫
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	重山 鶴一
海軍艦政本部附ヲ命ス	同	中野 美松
海軍航空本部附ヲ命ス	同	山口 賢二
第百二海軍施設部附ヲ命ス	(各通)	同
横須賀海軍軍需部附ヲ命ス	同	矢田 保
第二十五海軍建設部附ヲ命ス	同	青田 農夫雄
佐世保鎮守府軍法會議附ヲ命ス	同	鈴木 進
海軍監獄看守長	海軍錄事	長谷川 重光
第百二海軍刑務所附ヲ命ス	同	川 尻 清
第一海軍航空廠附ヲ命ス	海軍技手	野口 尙武
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	古池 繁好
高雄海軍施設部勤務ヲ命ス	同	橋本 長之助
第二海軍工作部附ヲ命ス	同	松井 春義
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	川本 愛藏
	同	岩崎 仙太郎

海軍公報(部内限) 第四千六百九十六號 昭和十九年五月二十三日

七五七

海軍艦政本部附ヲ命ス	海軍技手	吉田 清美
(各通)	同	福地 嘉次郎
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	西岡 由春
第百一海軍工作部附ヲ命ス	同	稻岡 久夫
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	石原 武夫
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	坂井 明
第四海軍工作部附ヲ命ス	同	松本 繁夫
高雄海軍施設部勤務ヲ命ス	同	廣庭 忠
海南海軍工作部附ヲ命ス	同	小田 弘志
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	筒井 庄爾
第三海軍燃料廠附ヲ命ス	同	熊谷 秀雄
第二氣象隊附ヲ命ス	同	佐野 護
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	入杉 源次郎
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	岡本 真一
(各通)	同	横山 忠
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	松岡 久生
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	岸本 隆夫
(各通)	同	北條 定
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	石崎美代夫
(各通)	同	難波 朝男
第二十五海軍建設部附ヲ命ス	同	塩川 敏昂
第二十四海軍建設部附ヲ命ス(以上 ^{十四} 海軍省)	同	田村 久男
		伊東 幸一

0820

吳海軍經理部
員海軍主計大尉

太田 俊輔

吳海軍經理部別府支部艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス
海軍主計大尉 依田 實

帝洋丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(以上一五〇支官 海軍省經理局長)

海軍主計大尉 若林 照

第四海軍施設部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊給費分任出納官吏ヲ命ス

同 佐藤 政行

右同分任出納官吏ヲ免ス

同 大原 徹夫

驅逐艦清霜ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 入江 貞夫

第九〇一海軍航空隊派遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上五五同)

○ 雜 款

○赴任轉勤旅費ノ件

本分校ヘノ轉勤者ハ柳井驛下車同驛ヨリ分校マデ陸路十杆ナリ(乗合自動車ノ便アリ)最近轉勤者ニ對シ柳井驛マデ前金拂ヲナス向鈔カラザル處今後前金拂ヲナス際ハ柳井田名問車馬賃ヲ算入ノコトニ取計相成度追テ柳井驛ノ隣接ニ柳井港驛アリ往々ニシテ柳井驛ト誤解シ下車セル例鈔カラズ特ニ留意相成度爲念
山口縣熊毛郡佐賀村字田名
(海軍潜水學校分校)

○開隊

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊ハ五月十五日愛知縣碧海郡矢作町大字北野ニ開隊セリ

○轉勤者旅行順路

省線岡崎驛下車—名鐵岡崎線明大寺驛下車—東岡崎驛ニテ名鐵豊橋線乗換—同線宇頭驛下車(約四、一杆徒歩四十五分)
(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

○事務開始

伊號第三百六十三潜水艦艦裝具事務所ハ五月十五日吳海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ
(電話番號准士官以上事務室吳工廠 三〇〇八番)

第三〇一設營隊ハ五月十五日神奈川縣藤澤市横須賀海

海軍公報(部内限)第四千六百九十六號

昭和十九年五月二十三日

七五九

軍施設部設警班桑原部隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○梅艦裝具事務所ハ五月十六日大阪市住吉區柴谷四四藤永田造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ
(電話藤永田造船所 一六六五番)

○事務所撤去

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊(假稱)設立準備事務所ハ五月十五日之ヲ撤去セリ
追テ分遣隊ヘノ轉勤者ハ直接左ニ依リ赴任セシメラレ度

名古屋方面ヨリノ場合

省線岡崎驛下車―名古屋鐵道岡崎線乗換明大寺驛下車―東岡崎驛ニテ名古屋鐵道豐橋線乗換―同線矢作橋下車(約四、八分 徒歩五十分)

東京横須賀方面ヨリノ場合

東海道線豐橋驛下車―名古屋鐵道豐橋線ニ乗換―同線矢作橋驛下車(約四、八分 徒歩五十分)
(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

第二一五設警隊事務所ハ五月十七日之ヲ撤去セリ

○訂正

三月十八日海軍公報(部内限) 第四千六百四十號辭令欄中海軍主計大尉唐崎匡一、同宮澤鐵藏ノ辭令月日、二月十五日トアルヲ二月二十四日ニ訂正ス

○取消

三月二十五日附海軍公報(部内限) 辭令欄四〇七頁上段十九行目「中村 進」ノ、五月八日同辭令欄六七五頁上段四行目趣前正作ノ、五月十五日同號外六頁十三行目及十五頁五行目奥嶋 實ノ辭令文ハ孰モ取消

○正誤

三月三十一日附海軍公報(部内限) 號外十頁三段目菊池龍文ハ菊地龍文ノ誤ニ付訂正

○本日暗送公報第十八號發行ス

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日(水)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房經機密第六七一號
艦船部隊殘務整理班ニ於ケル會計殘務整理規程中左ノ
通改正ス

昭和十九年五月二十二日

海 軍 大 臣

第二條中「海軍計算證明等戰時特例第六條」ヲ「戰時
海軍計算證明規程第十三條」ニ改ム

官房需第一四〇號

昭和十八年官房需第二五七號第三中「昭和十六年官房
機密第九三二六號中」ヲ「海軍給與令施行細則中」ニ
改ム

昭和十九年五月二十三日

海 軍 大 臣

(參照) 昭和十八年官房需第二五七號ハ臨時特例ニ依リ採用セラレ
タル豫備生徒ノ被服定數等ノ件(機密會計法規八九頁)

官房需第一四一號

當分ノ間海軍給與令施行細則中被服物品ノ交付、貸與
共ノ他ノ特例ニ關シ左ノ通定ム

昭和十九年五月二十三日

海 軍 大 臣

一 交付又ハ貸與ノ特例

(イ) 第七表ノ二及第八表ノ規定ニ依リ軍樂兵曹及軍
樂兵ニ交付スル禮衣袴、前立及カフスハ之ヲ交付
セズ

(ロ) 第八表ノ規定ニ依リ新兵ニ入團(隊)時交付ス
ル半靴二組ノ中一組ハ新兵教育期間終了迄之ヲ交
付セズ

(ハ) 第八表ノ三ノ規定ニ依リ生徒ニ交付スル禮衣袴
ハ之ヲ交付セズ

(ニ) 第十四表ノ規定ニ依リ下士官及兵共ノ他ニ貸與
スルモノノ中

(一) 禮裝用臂章ハ之ヲ貸與セズ
(二) 防著被服ノ中防著服乙ハ之ヲ貸與セズ

海軍公報 (部内限) 第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六一

0823

- (ホ) 第十五表ノ規定ニ依リ患者ニ貸與スルモノノ中 綿入長白衣、帽及足袋ハ之ヲ貸與セズ
 - (ヘ) 第十六表ノ規定ニ依リ在監人ニ貸與スルモノノ 中綿入長白衣ハ之ヲ貸與セズ
- 二 交換期限ノ特例

- 第十一表ノ規定ニ依ル交換期限ノ中
 - (イ) 交換期限アル被服物品ニシテ事變地ニ在ル下士 官及兵ニ交付ノモノハ交換期限經過後ト雖モ尚使 用ニ堪ユルモノハ之ヲ無期トス
 - (ロ) 事變地外ニ在ル下士官及兵ニシテ防暑服ノ貸與 ヲ受クルモノノ夏襦袢ノ交換期限ハイ項ニ準ズ
 - (ハ) 服役延期ノ期間ヲ定メラズシテ服役ヲ延期セ ラレタル下士官及兵ノ被服物品ハ第十一表備考第 五號ノ規定ニ拘ラズ交付交換スルモノトス
 - (ニ) 半靴ノ交換期限ハ海上ニ勤務スル者以外ノモノ ニ在リテモ交換期限經過後之ヲ無期トス
- 三 品質、製式ノ特例
- 第十七表ニ規定ノ品質、製式ノ中
- (イ) 軍衣、軍袴、夏袴及外套ノ腰廻リ裏及襠ニハ生 厚木綿ニ代ヘ他ノ布ヲ使用スルコトヲ得
 - (ロ) 軍樂兵曹及軍樂兵ニ交付スル軍衣及軍袴ノ表地

- 二號羅紗ハ之ヲ厚セルジトス
- (ハ) 生徒ニ交付スル軍衣及軍袴ノ表地ハ紺サージ製 一種トス
- (ニ) 生徒、豫備學生及豫備生徒ニ交付スル夏襦袢及 夏袴下ノ地質ハ晒薄綾木綿製一種トス

附則

昭和十五年官房第五六四九號、昭和十六年官房第一九 一八號、官房機密第九三二六號、昭和十七年官房第七 五六七號及昭和十八年官房第二〇四號ハ之ヲ廢止ス

(參照)

昭和十五年官房第五六四九號ハ被服交換期限特例ノ件(會 計法規二卷八〇八ノ二九頁)
 昭和十六年官房第一九一八號ハ軍樂科下士官兵ニ禮衣袴、 前立、禮服用帽章等ヲ交付又ハ貸與セザル件(衣糧例規四 一二頁)
 同 年官房機密第九三二六號ハ生徒、豫備學生ノ被服定數 等ノ件(機密會計法規八五頁)
 昭和十七年官房第七五六七號ハ生徒ニ禮衣袴ヲ交付停止ノ 件(昭和十七年十二月十六日海軍公報(部内限))
 昭和十八年官房第二〇四號ハ新兵ニ教育終了時迄半靴一 組ヲ交付セザル件(會計法規二卷二五二ノ二頁)

官房機密第一七八號

海軍軍需部長ハ大東亞戰爭中主計長主管艦營需品備品 食器碗ヲ艦船部隊ノ下士官及兵ニ供給スルコトヲ得

シム
之ガ整理手續ニ關シテハ海軍省軍需局長ヲシテ通牒セ

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

官房需機密第一八〇號

昭和十八年官房需機密第三〇九號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

別表中雨衣ノ項ヲ左ノ如ク改ム

雨衣	一	一	一	一
略衣帽	一	一	一	一
略衣袴	一	一	一	一
夏袴下	一	一	一	一
帶皮	一	一	一	一
靴下	六	六	六	六

同表中夏袴下、帶皮及靴下ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

同表中臂章ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

手拭	二	二	二	二
禪	三	三	三	三

附則

帶皮、禪及手拭ノ定數ハ其ノ交付ヲ受ケタル者ニ付適用ス

(參照) 昭和十八年官房需機密第三〇九號ハ出征艦船部隊ノ下士官及兵ノ被服物品定數、還納等ノ件(機密會計法規一三〇ノ四七頁)

○通牒

官房備第八七號

昭和十九年五月二十三日

海軍次官事務取扱

關係各廳長殿

不用暗幕ノ撤去等ニ關スル件通牒

纖維資源逼迫ノ折柄各廳備付暗幕(通常物品)ノ中分散格納倉庫其ノ他夜間ハ殆ンド使用ノ見込ナキ建物等ニ備付アルモノハ速ニ撤去ノ上之ヲ下士官及兵用被服材料ニ活用セシムルコトトシ左記ニ保管轉換ノ手續ヲ

海軍公報(部内限)第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六三

0825

爲スト共ニ現品送付相成度
尙自今暗幕ハ夜間使用見込ナキ建物ニハ之ヲ備付ケザ
ルコトニセラレ度

記

東京都品川區大井南濱川町埋立地
第一海軍衣糧廠 通常物品會計官吏宛

軍需二機密第五三〇號

昭和十九年五月二十二日

海軍省軍務局長
海軍省軍需局長

關係各廳長殿

二號重油供給ニ關スル件申進

昭和十七年軍需機密燃第三七〇號ヲ以テ艦船主機械用
ニハ新二號重油ヲ供給スルコト、相成居候處燃料ノ需
給極度ニ逼迫セル現狀ニ鑑ミ自今二號重油ヲモ供給シ
得ルコトニ定メラレ候

海人三機密第二號ノ一六

昭和十九年五月二十三日

海軍省人事局長
海軍省教育局長

關係各廳長殿

充員召集中ノ補充兵及國民兵ニ對スル人
事取扱等ニ關スル件中改正ノ件申進

首題ノ件中左記ノ通改正セラレ候

追テ昭和十七年海人第一號ノ三四二ハ自然消滅ノ義
ト了知相成度

記

第四號中「特ニ教育實施ニ關シ所見アル向ハ之ヲ所屬
長官ニ提出スルト共ニ各一通ヲ本人在籍ノ鎮守府司令
長官、海軍省教育局長及海軍省人事局長ニ送付スルモ
ノトス」ヲ「教育實施又ハ人事取扱ニ關シ格別ノ所見
(修業成績表ノ添付ヲ要セズ)アル場合ニ限り所屬長
官及本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ之ヲ提出又ハ送付ス
ルモノトス」ニ改ム

第八號イ中「當分ノ問調製セズ」ヲ「下士官、特修兵
又ハ特技兵ト爲リタル者ハ其ノ際當該所轄長之ヲ調製
シ其ノ他ノ者ニ在リテハ調製ヲ要セズ」ニ改ム

(參照) 内令提要卷二、五〇頁

諸例則卷二、二六八ノ二頁

軍需機密第三一〇號

昭和十九年五月二十日

關係各廳長殿

艦營需品還納ニ關スル件申進

首題ニ關シ從來屢々申進致置タル處戰局ノ進展ニ伴ヒ各種需品ノ需要量莫大ナルニ反シ資材竝ニ生産能力ノ關係上之ヲ調達愈々困難トナリ今後ノ補給ニ支障ヲ招來スベキ現狀ニ鑑ミ昭和十八年軍需機密需第五七七號ニ依ル供給停止品中左記品名及其ノ他差當リ使用セザル需品ハ總テ之ヲ速ニ戦力増強ニ活用致度ニ付至急最寄海軍軍需部ニ還納ノコトニ取計相成度

記

一 内務長主管運用之部

削削器、索締螺旋大、小、製索器、製索器臺、グリ
ス罐、鳩目打器、甲板洗桶甲、塗具罐大、小、塗具白、
四爪鉗、爪竿乙、梯子、靴洗器、草取、刈込鋏、
下地形、數字形甲、乙、文字形、截鎌、鋤、熔鍋、注
入唧筒、鋤簾、如露、手燭、風通、防水蓆覆、釣床
括帶、食卓覆、煙草盆敷物、四爪鉗用鎖、鐵帶複滑車
穀ノ長、同、同、時鐘大、中、小、(艦船
二五〇耗 二七〇耗 三〇〇耗
ノミ)振鈴、特種厚布蛇管大、中、筒先大、中、小、特小

漚器 大、中、小、蛇管接手 大、中、小、特小、螺翅、唧子
大、小、曲軸軸大、小、電動酸素充填唧筒、鐵罐

一 内務長主管金工之部

銅工金敷甲、鉸鏈甲、乙、銅工鏈乙、丙、平面盤大、割
指乙、摺掛小、穴拉、椀型、角口箸大、曲箸、螺切
型計器用、管切斷器大、小

一 内務長主管木工之部

組子締、浚隙鎌、鐵乾爐台、釘拔大、堅挽鋸大、鉋乙
航海長主管
信號旗掛覆、前垂、軍艦旗一巾半八巾十巾、外國軍艦
旗六巾

一 砲術長主管

水力機漏斗、グリセリン樹、電池用漏斗大、手提電
燈甲、水平桿甲

一 機關長主管

油差可、漏斗中、油受皿、磨函、鐵手桶大、小、乾爐、
銅鏈一疋、二疋、扛重機甲、摺合盤、剝子、削刀、鎗
形、油「タンク」、石炭袋、補機械覆、石炭入甲、乙、
火棒甲、乙、火挾甲、乙、煖爐用十能甲、煖爐甲、圓火
鉢、石炭樹乙、油運搬罐
一 主計長主管

0827

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦營需品食器碗ヲ携行物件ニ指定供給ノ件通牒

官房需機密第一七八號ヲ以テ訓令相成候首題物品ハ自今下士官及兵ノ携行物件ニ指定シ左記ニ依リ供給ノコトニ定メラレ候

記

- 一 取扱主任ハ食器碗大中小各一個ヲ下士官及兵ニ携行物件トシテ之ヲ供給シ被服物品交付表適宜ノ空欄ニ供給年月日ヲ記入シ其ノ數量ヲ拂出整理ノ上所管又ハ所屬ノ兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス
- 前項ニ依ル整理ニ關シテハ海軍給與令施行細則第七條ニ依ル交付證ノ書式ヲ準用ス
- 兵備品會計官吏ハ前項ノ報告ニ依リ消耗拂整理スルモノトス
- 二 材質ハ「アルミニウム」又ハ珐瑯製トシ己ムヲ得ザレバ一時其ノ他ノ材質ノモノヲ以テ充ツルコトヲ得
- 三 各廳ニ於テハ豫備定數トシテ下士官及兵定員ノ一割ヲ限度トシ外地ニ在リテハ「アルミニウム」製又

- 花瓶(金屬製)、机掛乙(將官公室及所轄長公室儀禮用ヲ除ク)、腰掛蒲團覆(將官公室用ヲ除ク)、椅子覆甲(將官公室用ヲ除ク)、同乙(將官公室用ヲ除ク)匙小(金屬製ノミ以下此ノ種ノモノ同斷)、ナイフ小フオーク小、菓子果物鉢、バタナイフ、紅茶コーヒ瓶小、砂糖壺小、砂糖挾、牛乳壺大、小、塩匙、セルビエツト、セルビエツト輪、アイスクリーム匙、配食皿、桿秤三〇〇匙、六匙、二匙、台秤五〇匙、五〇〇匙、一〇〇〇匙、提鞆小、法令全書、果物ナイフ、果物フオーク、魚ナイフ、魚フオーク大、小、魚取分、牡蠣フオーク、肉取分、肉フオーク、サラダ匙、サラダフオーク、野菜匙、ソース匙、胡桃割
- 備考
- 一 本品名中ト雖モ代用品竝ニ類似品トシテ供給ノモノハ還納スルニ及ハス
- 二 先任旗一巾、四巾、長旗2.5米2.2米、艦首旗三巾、當直旗三巾、軍用船旗四巾、赤十字旗一巾、四巾ハ古旗布トシテ整理ノ上使用差支ナシ

軍需機密需第三一四號

昭和十九年五月二十三日

ハ珙瑯製ノモノ、其ノ他ノ地ニ在リテハ陶磁器製、木製、箆製、「ベークライト」製、壓搾紙製等ノ代替品ヲ保有シ、其ノ他ノ不要額ハ速ニ最寄軍需部ニ還納ノコト

四 艦營需品支辨應以外ヘノ貸與、繰替供給等ノ場合ニハ「アルミニウム」製又ハ珙瑯製ヲ用ヒザルコト
五 艦營需品經理規程第十三條ノ規定ニ依ル手續ハ成ルベク速ニ完了ノコト

六 本供給手續ハ昭和十九年五月一日以後最初ノ所屬艦團部隊ニ於テ成ルベク速ニ完了スルモノトス

七 任用、進級又ハ召集解除等ニ依リ之ガ不用トナリタルトキハ取扱主任ハ現品ニ還納票ヲ添ヘ最寄海軍軍需部（特設海軍軍需部ヲ含ム）ニ還納スルモノトス

八 各艦船部隊取扱主任ハ毎年四月、七月、十月、一月ニ於ケル一日現在ヲ以テ供給數等ノ現狀ヲ記載シ成ルベク速ニ艦營需品經理規程第五條ノ規定ニ依ル兵備品會計官吏ニ通報スルモノトス

○ 辭 令

(各通)

海軍軍需施設部附軍軍技手 長谷川 照三
同 佐々木藤左衛門
同 植木 民次
同 入江 寛志
同 上田 三郎

兼榆林海軍運輸部附ヲ命ス(五十四海軍省)

第八海軍施設部附海軍技手 尾畑 保身
第八海軍建設部附海軍技手 相良 幸七
同 平岡 悟朗

(各通)

同 原田 源一郎
同 下村 啓嗣
同 陳 期 暘
同 原田 勝平
同 齋 弘 吉
同 新崎 長吉

南東方面艦隊司令部附ヲ命ス(五十四海軍省)
海軍中佐 淺野 以文
第二課勤務ヲ命ス(五十四海軍省人事局)

海軍運輸部事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額百五圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス
久保 五郎

海軍公報 (部内限) 第四千六百九十七號

昭和十九年五月二十四日

七六七

海軍運輸本部事務囑託ヲ解キマニラ海軍運輸部事務ヲ囑託ス(報例 如故)(以上ニテハ海軍運輸本部)

囑託 久保 五郎

○ 雜 款

○陸運事務分擔ノ件
當部及各支部(出張所)ノ陸運事務分擔左ノ通り定メタリ

現住所	輸送事務	擔任區域
横須賀海軍運輸部	陸運全般	静岡縣、長野縣、山梨縣、神奈川縣、東京都、千葉縣、栃木縣、福島縣、群馬縣、埼玉縣、茨城縣、宮城縣、岩手縣、愛知縣、岐阜縣、三重縣
横濱支部	陸上小運送	横濱市一圓
四日市支部	鐵道輸送ニ關スル各部下ノ連絡(鐵道輸送計畫ヲ除ク)	四日市一圓
霞ヶ浦出張所		土浦、荒川沖、鹿島方面
清水出張所		清水市一圓

(横須賀海軍運輸部)

○事務所移轉
虎尾海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ五月七日臺南州虎尾郡虎尾街ニ移轉セリ

○出張所移轉
佐世保海軍軍需部鹿兒島出張所ハ五月十三日同市堀江町一〇番地(電話 二二二四)ニ移轉セリ

○失官

0830

海軍公報

(部内限) 第四千六百九十八號

昭和十九年五月二十五日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房備機密第三〇三號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十三日

海軍大臣

表中第二十八海軍軍用郵便所ノ項職員ノ欄「所員

任十一人奏任 十一人奏任

任十四人判任 ヲ「所員」專任 十五人判任

務九人雇員」ヲ「所員」專任 九人雇員」ニ、

第三十海軍軍用郵便所ノ項職員ノ欄「所員」專任

十三人判任 ヲ「所員」專任 十四人判任

四人雇員」ヲ「所員」專任 四人雇員」ニ改ム

○通牒

(参照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナ
リ(内令提要卷一、六四ノ九頁)

軍需機密第一六六號

昭和十九年五月二十四日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

戰地ニ於テ海軍ノ工事又ハ運輸作業等ニ
從事スル請負人ニ對スル糧食品ノ供給及
整理ニ關スル件中改正ノ件通牒

昭和十七年軍需機密第一九五號中左ノ通改正致候

記

第二號中

(一) 中「供給元ハ消耗拂」ヲ「供給元(ニ)該當艦船部
隊ヲ含ム」ハ供給拂」ニ改メ(ニ)「ホトシ以下順次繰
下ゲ」ハノ次ニ左ノ如ク加フ

(ニ) 供給元必要アル場合ハ其ノ工事又ハ作業地最
寄ノ艦船部隊ト協議ノ上當該艦船部隊ヲシテ之
ヲ供給セシムルコトヲ得

艦船部隊前項ニ依リ供給シタルトキハ其ノ品名

海軍公報(部内限) 第四千六百九十八號

昭和十九年五月二十五日

七六九

0831

數量ヲ供給元ニ通知スルモノトス

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ五二頁

軍需機密第一六七號

昭和十九年五月二十四日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

戰地ニ於テ海軍ノ工事又ハ運輸作業等ニ
從事スル請負人ニ供給ノ糧食品ニ關スル
件照會

昭和十七年軍需機密第一九五號通牒首題糧食品ニ關
シテハ供給ニ對スル査定竝ニ供給後ノ整理監督ニ付夫
々規定シアル處從來之ガ勵行不充分ノ爲現品使用振放
慢ニ流レ不都合ヲ生ジタル例モ有之候條供給竝ニ排出
ニ當リテハ嚴重ニ査定、監督ノ勵行方特ニ留意相成度

(参照) 海軍機密會計法規類集一三〇ノ五二頁

艦本機密第一號ノ七五九九

昭和十九年五月二十四日

海軍艦政本部總務部長

横須賀、吳、
佐世保、舞鶴 鎮守府參謀長殿

小銃狹窄實包射擊上ノ注意ニ關スル件
照會

最近首題射擊ニ於テ狹窄彈ノ彈片鐵板のニテ反跳シ射
手ノ眼ニ入り重傷セシメタル事故有之自今此種危險防
止ニ關シ留意セシメラレ度尙差當リ左ノ對策ハ有効ト
認メ候

- 一 鐵板の代リニ木板のヲ使用スルコト
- 二 彈片止メトシテ鐵板ヲ用フル場合ハ之ヲ木板のノ後
方ニ置キ中間ニ土砂ヲ堆積ス
- 三 射距離ヲ十米以上トスルコト
- 三 破損セル鐵板のハ使用セザルコト

○ 辭 令

(各通)

第百二海軍經理
部附海軍書記

栗原 富雄

同

江間 義二

第百四海軍經理部附ヲ命ス(ニテ海軍省)

海軍中佐 板垣 金信

靖國神社祭典掛ヲ命ス

御府獻納品銓衡委員會委員ヲ命ス

海軍統制研究調查委員會委員ヲ命ス

靖國神社合祀審査委員會委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス
海軍中佐 松本 作次

(各通)

第四海軍施設
部附海軍書記 大川 寛

第四海軍施設
部附海軍技手 西原 敏行

同 原田 清

第二百十六設營隊附ヲ命ス

第四南道艦隊司令
部附海軍書記 吉野 精一

第四海軍軍需部附ヲ命ス(以上^{三三〇}同)

海軍大佐 大石 新一

高等軍法會議判士ヲ免ス
東京軍法會議判士ヲ免ス

海軍中佐 淺野 以文

海軍武官任用委員ヲ命ス
海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス

海軍豫備學生採用試験委員ヲ命ス(以上^{三三〇}同)

海軍主計中尉 福田 陽一

第二百二海軍經理部マカツサル支部國防献金、恤兵金、
學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

海軍書記 水島 正樹
同右分任出納官吏ヲ免ス(以上^{三三〇}海軍省經理局長)

長)

海軍大佐 田 尻 稜

天津在勤海軍武官府、國防献金、恤兵金、學藝技術
獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

同 遠藤 實

同右分任出納官吏ヲ免ス(以上^{三三〇}同)

○ 雜 款

○速達郵便料金ニ關スル件
當隊宛速達郵便物ハ特別料金地域内(三月七日海軍公
掲載)ナル處普通料金貼付ノ爲不足料金支拂毎月相當
ノ額ニ上リ事務處理上支障有之候條必ズ特別地域料金
貼付相成度
(神ノ池海軍航空隊)

○輸送品到着驛ニ關スル件
當廠兵器部宛ノ發送品ヲ從來往々大村又ハ竹松驛宛送
付ノ向有之候處當廠兵器部ノ所在地ハ左記ノ通ナルヲ
以テ輸送ニ時日手數ヲ要スルノミナラズ調査上ニモ支
障多キニ付自今同部宛ノ發送品ハ佐世保驛宛送付ノコ
トニ御取計ヲ得度

海軍公報(部内限) 第四千六百九十八號 昭和十九年五月二十五日

七七二

長崎縣佐世保市崎邊第二十一海軍航空廠兵器部
記
(第二十一海軍航空廠)

海軍中尉從七位氏家雄五月七日飛行訓練中遭難
殉職五月十二日第三六一海軍航空隊ニ於テ佛式ニ
依リ海軍葬儀執行セリ

○本日普通公報發行セズ

0834

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百九十九號
昭和十九年五月二十六日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房軍機密第七四七號

昭和十八年官房教機密第三五一號中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣

第一號中「横須賀第二海兵團」ヲ「武山海兵團」ニ、
「海軍機雷學校」ヲ「海軍對潛學校」ニ改ム
第三號中「横須賀第二海兵團」ヲ「武山海兵團」ニ改
メ「實施」ノ下ニ「竝ニ同教育ノ爲配セラレタル教官
及附立ニ豫備學生生徒ノ人事取扱」ヲ加フ

(参照) 昭和十八年十二月二十四日海軍公報(部内限)

官房設第四四號

大東亞戰爭中海軍要員住宅設計標準別冊ノ通定ム

別冊ハ海軍施設本部長ヲシテ所要ノ向ニ配付セシム

昭和十九年五月二十五日

海軍大臣

官房艦機密第二三號ノ四三

昭和十九年五月二十六日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

兵器簿ノ件通達

潜水艦兵器簿機關長主管ノ部中左ノ通改正ス

記

- 一 改正スベキ兵器簿
- 伊號第二、第五、第六、第八、第十、第十六、第二十六、第二十七、第二十九、第三十二、第三十三、第三十六、第三十七、第三十八、第四十一、第四十四、第四十五、第四十六、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十一、第二百二十一、第二百二十二、第二百五十六、第五百五十七、第五百五十八、第五百六十九、第七百七十四、第七百七十五、第七百七十六、第七百七十七、第八百八十、第八百八十三、第八百八十四、第八百八十五潜水艦、呂號第三十六、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第

海軍公報(部内限) 第四千六百九十九號

昭和十九年五月二十六日

七七三

0835

空襲勢強化ニ關スル件」通牒ノ趣旨ニ依リ關係地方官應等ト一層緊密ニ連繫シ協力一體トナリ急速ニ重要工場ノ防空態勢ヲ確立シ以テ今次閣議決定ノ趣旨具現ニ關シ格段ノ努力ヲ致サレ度依命此段及通牒候也

記

一 要領「一」ノ超重要産業等ノ分散措置(超重要工場等ノ分散疎開ニ付テハ關係者ニ於テ決定ノ都度指示スル豫定ナルヲ以テ地方ニ於テハ之ニ伴フ勞務、輸送、勤勞者ノ住宅、食量ノ配給等ニ關シ協力ノ上之ガ急速圓滑ナル實施ヲ圖ルコト

二 要領「二」ノ重要工場ニ對スル防空對策ノ緊急實施基準ニ付テハ概ネ既往ニ於テ指示シアル中央防空計畫及工場防空指針竝ニ製鐵、製鋼、造船、車輛、瓦斯、輕金屬、炭礦等ノ防空整備要綱(未定稿)ニ依ルコト、シ防空措置ノ急速完成ヲ期スルコト

三 要領「三」ノ業種別防空基準工場ハ差當リ中央ニ於テ現地調査指導ヲ實施シタル工場(別紙第一業種別基準工場表)參照)トスルモ逐次設定ノ上指示スル豫定ナルコト

四 要領「四」ノ重要ナル協力工場ノ防空的企業系列ノ整備及「四」ノ各業種別ノ被害時ニ於ケル復舊、

轉換ノ爲順位及轉換計畫ニ付テハ各所管省ノ方針決定後指示スルコト

五 要領「五」ノ現場指導ニ付テハ四月十八日附防業一九發第四五號通牒(三)ノ「現地指導及査察ノ實施」ニ依リ協力ニ實施スルコト但シ重要ナル工場ハ何レモ防空法施行令第十六條ノ四ノ規定ニ依リ近ク各所管大臣ノ指定アル豫定ニ付キ現地指導班組織ノ場合ハ必ず關係地方官應係官ヲ加フルト共ニ各統制會トモ連絡協力ノ下ニ實施スルコト

別紙第一

業種別防空基準工場表

業種別	工場名	場所
輕金屬	日本輕金屬清水工場 蒲原工場	静岡縣清水市
製鐵	廣畑製作所	兵庫縣
造船	三菱重工業(株)横濱造船所	横濱市
車輛	日本車輛製造(株)本社工場	名古屋市
瓦斯	東京瓦斯(株)鶴見工場	川崎市

0837

炭	三井三池 鑛業所	大牟田市
製	日本鑛業(株) 佐賀之關製鍊所	大分縣佐賀之關町
ソーダ硝子、工業藥品	旭硝子(株) 牧山工場	八幡市
染料火藥原料	三井化學(株) 三池染料工業所	大牟田市

(別紙)

決戦非常措置要綱ニ基ク工場防空強化
對策實施要領 一九、四、二七 閣議決定

一 超重要産業ニシテ同種品目ノ大部ヲ同一地域ノ工場ニ於テ生産シアルモノニ付テハ生産ノ低下ヲ克服シツツ緊急ニ之ガ分散ノ措置ヲ講ズ(航空機、造船並ニ之ガ關聯工業等)

(註) 超重要機械又ハ施設ノ分散ニ付テモ右ニ準ジ措置ス

二 重要工場ニ對シ防空對策ノ緊急實施基準ヲ示シ極力未整備ノ點ナカラシムル如ク五月末日ヲ目途トシテ防空措置ヲ急速實施セシム

右ニ關聯シ業種別ニ防空基準工場ヲ設定ス
三 重要工場ノ重要ナル協力工場ニシテ遠隔ノ危險地域ニ存在スルモノハ之ヲ安全ナル近接地域ニ在ルモ

ノニ系列ヲ切換ヘ又ハ移轉スル等防空的見地ヨリ企業系列ノ整備ヲ急速ニ促進ス

四 重要工場ニ付各業種毎ニ被害時ニ於ケル復舊、轉換ノ爲ノ順位ヲ五月末日迄ニ調査概定スルト共ニ轉換計畫ヲ樹立ス

五 工場ノ各所管省ハ關係中央、地方官衙、統制會等ト協力ノ下ニ速ニ重要ナル工場ノ各現場ニ就キ防空措置ヲ具體的ニ指導スルト共ニ之ガ具現普及ヲ強力ニ推進ス

備考

(一) 本實施要領ニ基ク輸送ニ關シテハ各種緊急輸送トノ調整ヲ圖リツツ所定方針通り實施シ得ル如ク處置スルモノトス

(二) 空襲被害ニ對スル復舊ノ爲ノ資材ノ配當斡旋ニ關シ軍需省ニ於テ一元的ニ急速ナル處置ヲ講ジ得ル如ク速ニ考究スルモノトス

軍需糧第一〇一號

昭和十九年五月二十五日

關係各廳長殿

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

0838

運輸通信省所管航空機搭乗員養成所生徒ノ糧食給與ニ關スル件通牒

海軍航空隊ニ併置ノ首題養成所生徒ニ對シテハ海軍給與令第八十八條ニ依リ糧食ヲ給與シ得ルコトトシ本年三月十五日以後ノ給與ニ付之ヲ適用シ得ルコトニ定メラレ候

經豫機密第五號ノ一四

昭和十九年五月二十四日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

雇員、傭人、工員及傭員用寄宿舎トシテ部外家屋借用ニ關スル件中改正ノ件通牒

昭和十九年經豫機密第五號ノ一左記第三號中(ロ)項「雜給及雜費、雜件費」ヲ「事務費、雜費」ニ、「(リ)」ヲ「(ル)」ニ改メ(チ)ノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

- (リ) 運輸部 運輸費
- (ヌ) 氣象部 氣象費、雜費

(參照) 海軍機密會計法規類集一八ノ一九頁

○ 辭 令

○昭和十九年五月十二日

任海軍技手

給四級俸

村田 義美

○昭和十九年五月二十四日

任海軍技手

給五級俸

文部屬兼文部技手

廣 澤 昇

臺灣總督府交通局屬

同

同

同

臺灣總督府交通主事

同

同

通信事務員

同

同

同

同

富岡 春信

大脇 景次

飯森 正男

中野 操

櫻井 忠男

渡邊 長男

坂名城 方

中上 只久

山田 次郎

宮永 幸三郎

末永 忠義

松尾 貞丸

飯森 隆

海軍公報(部内限)第四千六百九十九號

昭和十九年五月二十六日

七七七

0839

(各通)

通信事務員
 湯田 繁人
 佐土 正男
 横川 正昭
 奴久妻 郁也
 福永 保藏
 津野 秀夫
 池村 惠源
 池之上 正弘
 大川 正秀
 河野 正俊
 嵩本 正英
 野村 致邦
 慶世村 清鐵
 徳留 甚吾
 上野 三郎
 山田 智計
 後藤 白男
 後藤 白男
 拾原 章二
 下川 利雄
 高柳 哲夫
 徳田 明

同 園 二三雄
 同 松 永 忠 雄
 同 和 田 義 夫
 同 今 田 博
 同 楠 田 清 記
 同 神 田 昇
 同 北 村 廣 一
 同 甲 斐 義 美
 同 都 築 義 興
 同 永 井 千 年
 同 大 塚 五 月
 同 高 雄 警 備 府 附 命 斯 (海軍省)
 海軍司政官 渡 邊 勇 平
 賜十級俸
 補海南海軍特務部部員(同)
 遞信局技師 富 樫 鐵 太 郎
 第三南遣艦隊司令部附ヲ免ス(同)
 同 水 野 貢
 第一南遣艦隊司令部附ヲ免ス
 同 田 川 享
 第二南遣艦隊司令部附ヲ免ス

同 宮田 政雄
第四艦隊司令部附ヲ免ス(以上 四〇日同)

通信事務官 立松 繁太郎

第二十八海軍軍用郵便所長ヲ免ス(八〇日同)

海軍技手 村田 義美

廣海軍工廠附ヲ命ス(十五日同)

海軍技手 廣 澤 昇

土浦海軍航空隊附ヲ命ス(三十日同)

通信書記補 松下 日出男

事務員 目黒 弘市

(各通) 同 赤間 宣夫

同 倉林 富美雄

第三十二海軍軍用郵便所員ヲ免シ第十一海軍軍用郵便所員ヲ命ス(二十三日同)

東京帝國大學教授 田中 敬吉

(各通) 同 谷 一郎

東京帝國大學助教授 小川 太一郎

同 木村 秀政

海軍航空本部業務ヲ囑託シ報酬年額千圓ヲ贈與ス(四日同)

海南警備府事務囑託ヲ解ク(三十日同)

伊志嶺 朝良

前田 柳一

神保 銚正

岡野 六彌

草野 亮

西 隆一

鈴木 濤男

益森 幸雄

古村 令治

森田 勝人

影山 桓虎

齋藤 潤

乾 信明

三好 秀雄

海野 昌男

岸田 史郎

若林 嘉茂

横須賀鎮守府業務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス

軍令部事務囑託

本田 親喜

自今報酬年額千六百五拾圓ヲ給ス(以上 五日同)

海軍公報(部内限) 第四千六百九十九號

昭和十九年五月二十六日

七七九

0841

海軍省南方政務部事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

横森 義教

佐世保海軍運輸部事務囑託ヲ解キ海軍運輸本部事務ヲ囑託ス(報酬如故)(以上同)

國友 正道

海軍省事務囑託

兼マカツサル研究所事務ヲ囑託ス

豊田 久二

自今報酬年額千八百圓ヲ給ス(待遇如故)(同)

堀 義路

相模海軍工廠化學實驗部業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

東京帝國大學教授 水島 三一郎

海軍航空技術廠支廠研究業務ヲ囑託シ報酬年額千五百圓ヲ贈與ス

長谷部 信正

吳海軍工廠工具養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千五百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

帶賀 雅吉

吳海軍運輸部事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

清水 文夫

高座海軍工廠工具養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

上田 安治

廣海軍工廠工具寄宿舍事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

吉本 成之

海軍艦政本部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

東儀 正博

海軍航空本部業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

小俣 壽雄

舞鶴海軍工廠工具養成所囑託

山口 忠

自今報酬年額貳千參百圓ヲ給ス

山口 忠

舞鶴海軍工廠工具養成所教務囑託ヲ解ク

岡本 敏男

海運局鑑査官 同 和仁 運平

海運局港務官 穂積 龍雄

海運局書記官 横田 千

(各通)

海軍省事務ヲ囑託ス	同	林 垣	海軍省兵備局事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	藤原 強
海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	同	末次 瀧夫	海軍省軍需局事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス	古川 武次
		佐々木 繁	海軍省軍需局事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス	伊藤 正雄
(各通)	地方技師	岡尾 嘉美	海軍技術研究所研究業務ヲ囑託シ報酬年額四百圓ヲ贈與ス	東京帝國大學助教 後藤 以紀
	地方事務官	猿田 熊五郎	高維海軍施設部業務ヲ囑託ス(以上五十圓同)	福田 次郎
	北海道廳技師	近藤 秀雄		
横須賀鎮守府業務ヲ囑託ス		小 黒 博		
(各通)		千八拾圓		
		千貳拾圓		
軍令部事務ヲ囑託ス		竹 網 優		
但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス		眞殿 益造		
		葛西 喜一		
		今井 信孝		
(各通)		磯野 正典		
		増田 顯邦		
		佐々木 周雄		

海軍公報(部内限) 第四千六百九十九號 昭和十九年五月二十六日 七八一

○ 雜 款

○工場開設
 第十一海軍航空廠兵器部海田市工場ハ五月一日廣島縣安藝郡奥海田村ニ開設セリ

一 所掌事項
 無線計器、射爆電氣、光學兵器關係

二 電 話
 吳鎮守府交換經由海田市工場交換接續、海田市局一六四番

三 下 車 驛

0843

山陽本線海田市下車徒歩約十五分

（第十一海軍航空廠）

○事務開始

三重海軍航空隊滋賀分遣隊（假稱）設立準備委員事務所ハ五月十五日大津海軍航空隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

第二十六號海防艦裝具事務所ハ五月十五日長崎市飽ノ浦町長崎海軍監督官事務所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

0844

海軍公報 (部内限) 第四千七百號

昭和十九年五月二十九日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第一二一三號

本年五月二十日現在第二十六海軍建設部マノクワリ支部、同ソロン支部及同セルイ支部勤務ノ職員ハ特ニ發令セラルルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第二十八海軍建設部ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ
昭和十九年五月二十日
海軍大臣

官房軍第六八五號

鎮守府及警備府部外教育班規程中左ノ通改正ス
昭和十九年五月二十五日
海軍大臣

第三條第二項第二號中「防備隊司令又ハ港務部長」ヲ「海軍人事部長」ニ改メ同項第三號中「大阪警備府」ノ上ニ「大湊警備府及」ヲ加フ
(諸例四卷一、一五八ノ二頁參照)

官房軍機密第七五一號

昭和十七年官房機密第一二三五號中「燃料」ノ下ニ「被服」ヲ追加ス
昭和十九年五月二十五日
海軍大臣

官房經第五一五號

一般會計歳入科目中左ノ通追加ス
昭和十九年五月二十六日
海軍大臣

歳入臨時部

款	項	目	解	疏
(雜收入)				
受託造修收入				會計科目 電信略號
				スア
				スミ

海軍公報 (部内限) 第四千七百號 昭和十九年五月二十九日

七八三

0845

海軍受託 造修收入	前年度ヨリ繰 越タル歳入金	スシ
--------------	------------------	----

官房人機密第一二七四號

昭和十七年官房機密第一五六一號別冊中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十八日

海軍大臣

第一號中ハ左ノ如ク改メ(ニ)ヲ削リホヲ(ニ)トス

(ハ) 高等科各種練習生ハ當該練習生ノ選抜資格條件

ニ依ル官職階、年齢又ハ勤務期間ノ制限及現役、

應召別ニ拘ラズ下士官又ハ兵長ヨリ之ヲ採用ス但

シ兵長以上ヲ以テ所定ノ員數ヲ充足スルコト困難

ナル場合ニ於テハ上等兵(整備科以外ノ高等科練

習生ニ在リテハ普通科練習生教程卒業後概ネ六月

以上ノ勤務日數ヲ有スル者)ヨリ之ヲ採用スルコ

トヲ得

第二號ヲ削リ第三號乃至第五號ヲ夫々第二號、第三號

及第四號トシ第六號イ表申特技兵種別ノ欄

氣象術	水兵科
電測術	機關科

信號術	水兵科
氣象術	機關科
電測術	

ニ、選

拔範圍、官職階ノ欄「下士官及兵(無章)」ヲ「特修兵
及特技兵ニ非ザル下士官及兵但シ内火術(自動車班)
特技兵ニ在リテハ一等兵以上ヲ以テ所定員數ヲ充足ス
ルコト困難ナル場合ニ限リ補充兵及國民兵タル基礎教
育期間概ネ二月ヲ經過シタル二等兵ヨリ選抜スルコト
ヲ得」ニ改メ備考中水測術ノ下ニ「信號術、」ヲ加ヘ
第六號ヲ第五號トス

(参照) 昭和十七年官房機密第一五六一號ハ大東亞戰爭中各種練
習生及各種練習員ノ選抜及採用等ニ關スル特例ノ件ナリ

(内令提要卷二、一七)

官房機密第六九四號

海軍戰時特例給與規則中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十八日

海軍大臣

第五表備考第一號第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ下士官兵、豫備練習生及豫備補習生ニハ手拭及

褲ハ之ヲ給與セズ

同表備考第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二ノ二 入院患者又ハ派遣員ニ付當該廳長必要ト認

メタル場合ハ當該病院又ハ派遣ヲ受ケタル廳ニ於

テ前二號ニ準ジ之ヲ給與スルコトヲ得

0846

前項ノ給與ヲ爲シタルトキハ給與廳ヨリ其ノ旨本人ノ所屬廳ニ通報スルモノトス

附則

第五表備考第一號第一項ノ改正規定ハ昭和十九年十二月ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 海軍機密會計法規彙集一一六頁

○通牒

官房空機密第一二號ノ一四六

昭和十九年五月二十五日

海軍省 副官

横須賀、吳、佐世保、舞鶴鎮守府副官
大湊、鎮海、高雄警備府副官 殿

兵器簿ニ關スル件通知

内令ヲ以テ帝國軍艦籍ヨリ除カレタルモノノ兵器簿飛行長主管(第一類、第二類、第三類)及通信長主管(航空)ハ特ニ廢止ノ訓令發付セラレザルニ付除籍ノ内令ヲ以テ廢止セラレタルモノト了知相成度

海人第二一五號

昭和十九年五月二十三日

海軍公報(部内限)第四千七百號 昭和十九年五月二十九日

關係各廳長殿

海軍省 人事局長

定員外配屬者ノ履歷事項通報ニ關スル件

照會

明治三十八年勅令第四十三號ニ依リ所屬官廳ノ定員外トシテ海軍ノ特設部局又ハ部隊ニ配屬セラレタル者ニ付テハ從來所轄長ヨリ恩給年加算ノ始終期(内國港灣出發並ニ歸着ノ年月日及其ノ地名)ニ關スル通報ナク爲ニ敍勳資格、恩給年等ノ調査ニ方リ尠カラズ支障ヲ生ジアルニ付自今右配屬者ニ付テハ部内文官ニ準ジ之ガ通報方取計相成度

尙判任官以上ニシテ現在配屬中ノ者及既ニ配屬罷免(海軍文官ニ轉官シタル者ヲ除ク)トナリタル者ニ係ル前記事項ハ此際至急調査ノ上取纏メ通報相成度

○辭令

南西方面海軍民 五島 吉三郎

ボルネオ民政部附ヲ命ス(五月海軍省)

第二十五特別根據地隊 小山 亨

參謀策副長海軍中佐 第二十五特別根據地隊分隊長海軍大尉 境野 藤作

(各通)

七八五

0847

第二十五特別根據
地隊附海軍兵曹長 和泉 義雄

海軍軍法會議法第七十三條ノ二ニ依リ海軍司法警察
官トシテ勤務スル者ニ指定ス(五〇海軍大臣)

軍令部部員海軍中佐 橋本 逸夫
第二部第三課勤務ヲ命ス(三〇軍令部)

海軍中佐 橋本 逸夫
參謀部第二部第三課勤務ヲ命ス(三〇軍令部) 大本營海軍
部)

海軍主計大尉 龜山 浩吉
セレベス民政部メナド支部ニ要スル給與及其ノ他ノ
經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同 高木 正治
右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上七〇支出官 海
軍省經理局長)

海軍主計中尉 井上 英治
第三一一設營隊ニ要スル給與及其ノ他經費支拂ノ爲
艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍理事官 田中 夏
海軍艦政本部ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官
吏ヲ命ス(十五同)

海軍主計大尉 三島 宗彦
第三一一設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ
爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(五〇同)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第三十三潜水隊司令ハ五月二十二日司令潜水艦ヲ呂號
第六十八潜水艦ニ變更セリ

○内令提要別冊(定員關係) 追録第一號(三月三十一
日現在) 五月二十五日發送濟ニ付受領後直ニ確實ニ加
除整理ヲ行ヒ至急受領票送付アリタシ
(海、軍、省、副、官)

○書類發送ニ關スル件
當地ハ遠隔且交通不便ノ地ニシテ内地發營隊向書類ハ
到着二一乃至二箇月甚シキハ五箇月ヲ要セル現狀ナリ
シ處今般都合ニ依リ定期航空便ノ當地寄航取止メトナ
リタル爲書類ノ接受ハ更ニ遲延ヲ豫想セラレ、ニ至レ
ルニ依リ自今人事關係其ノ他ノ重要事項ニシテ急速處
理ヲ要スルモノハ差支ヘ無キ限リ電報處理ノコトニ取
計相成度
(第 四 警 備 隊)

○轉勤者赴任先
第四海上護衛隊及沖繩方面根據地隊へノ轉勤者ハ當分ノ間奄美大島ニ向ケ旅行セシメラレ度

(第四海上護衛隊司令部
沖繩方面根據地隊司令部)

○旅行順路

名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊(愛知縣碧海郡矢作町大字北野)ニ至ル順路左ノ通

1. 東京横須賀方面ヨリノ場合

省線岡崎驛下車名古屋鐵道(地方鐵道)岡崎宇頭驛

間八、二軒宇頭驛北野間陸路四、五軒(地方應測定)

2. 名古屋方面ヨリノ場合

省線安城驛下車名古屋鐵道(地方鐵道)南安城宇頭驛間七、五軒宇頭驛北野間陸路四、五軒(地方應測定)

(名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊)

○開隊
高雄海軍警備隊ハ四月二十日臺灣高雄市廊後ニ開隊セリ

○事務所移轉
平海兵團(假稱)設立準備委員事務所ハ五月十九日舞鶴市平ノ同團新市舎ニ移轉セリ

追テ旅行者ハ東舞鶴驛下車ノ上舞鶴海兵團ニ連絡相成度

(平海兵團(假稱)設立準備委員事務所)

○事務開始

伊號第三六六號潜水艦裝具事務所ハ五月六日三菱重工業株式會社神戸造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

(電話番號兵 三八七六番)

第二十八號海防艦裝具事務所ハ五月十五日長崎市飽ノ浦町長崎海軍監督官事務所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

海防艦沖繩裝具事務所ハ五月二十日神奈川縣橫濱市鶴見區辨天町十七日本鋼管株式會社鶴見造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○電話開通

電話富山 五二五三番

(富山海軍監督長)

○事務所撤去

第百二十九號特設輸送艦裝具事務所ハ五月十日之ヲ撤去セリ

伊號第三六一潜水艦裝具事務所ハ五月二十三日之ヲ撤去セリ

第十九設營隊ハ吳海軍施設部ニテ殘務整理中ノ處五月二十五日之ヲ撤去セリ

追テ事務連絡ノ必要アル場合ハ左ニ依リ發送相成度

(吳鎮守府艦船部隊殘務整理班)

海軍公報(部内限) 第四千七百號 昭和十九年五月二十九日

七八七

○失官

○休職満期

休職海軍技手但馬彦治ハ五月二十一日休職満期ト爲レ

○訂正

五月二十日海軍公報(部内限) 第四千六百九十四號辭令欄中海軍主計中尉大坪忠男ノ辭令月日「四月二十二日」トアルヲ「四月二十日」ニ訂正ス

○正誤

五月十五日附海軍公報(部内限) 號外二頁一行目「運輸通信屬幅口武揚」ノ「給七級俸」ハ「給月俸七拾圓」ノ誤

海軍公報(部内限) 第四千六百八十二號六六二頁上欄「海軍書記森 義信」ノ辭令文「横須賀海軍施設部勤務」ハ「吳海軍施設部勤務」ノ誤

五月二十二日附海軍公報(部内限) 辭令欄七五〇頁上段十二行目「參千同六拾圓」ハ「參千百六十圓」ノ、五月二十四日附海軍公報(部内限) 通牒欄七六四頁下段「軍需機密第三二〇號」ハ「軍需機密第三一〇號」ノ孰モ誤

0850

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千七百一號

昭和十九年五月三十日(火)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第六九五號

艦船部隊等ノ經費等ノ取扱特例中左ノ通改正ス

昭和十九年五月二十九日

海軍大臣

第十二條 削除

(参照) 海軍機密會計法規類集 一頁

官房需第一四三號

昭和十五年官房第一九四八號中「水路部ノ測量及觀測ニ從事スル船艇」ヲ「水路部並ニ氣象部ノ測量及觀測ニ從事スル船艇」ニ、「海軍軍需部及要港部在庫品」ヲ「海軍軍需部在庫品」ニ改ム

昭和十九年五月二十九日

海軍大臣

(機密品燃料取扱例規、一七三頁参照)

○ 通 牒

兵備四第二三一號

昭和十九年五月二十日

海軍省兵備局長
海軍省醫務局長

關係各廳長殿

昭和十九年度海軍ニ於ケル健民修鍊實
施ニ關スル件申進

首題ノ件左記ニ依リ實施ノコトニ取計相成度

記

一 修鍊ノ對象

甲 要鍛鍊者

年齢十五年以上十九年ノ者ニシテ身長別體重若ハ胸圍方別ニ示ス規準以下ニシテ鍛鍊ニ依リ體位ノ向上ヲ期シ得ル可能性アル者及運動機能不足ノ者(十七年以上ニアリテハ荷重速行四回四分ノ一以下ノ者、十六年、十五年ニ在リテハ四回以下ノ

海軍公報 (部内限) 第四千七百一號 昭和十九年五月三十日

七八九

0851

者、體力章檢定實施ノ場合ハ級外乙以下ノ者)

乙 陽 轉 者

「ツベルクリン」皮内反應自然感染陽轉ト判定セラレタル者ノ中「ツベルクリン」反應所見左ニ該當スル者

(1) B、C、G、未接種者ニ在リテハ強度ノ反應(硬結以上)ヲ示ス者

(2) B、C、G、接種者ニ在リテハ接種後六ヶ月以内ノ者ニシテ二重發赤アル者及六ヶ月以上ヲ經過シタル者ニシテ硬結又ハ二重發赤アル者

丙 要 注 意 者

胸膜炎治癒後一年以内ノ者若ハ初期結核症治癒後一年以内ノ者又ハ結核ヲ疑ハシムル病の症狀アリ其ノ病因ヲ決定スル必要アル者其ノ他養護ヲ要スト認メラルル者

但シ各項ニ該當スル要修鍊者中集團的修鍊生活ニ不適當ナル疾病異常アル者ヲ除ク

二 健民修鍊ニ要スル經費ハ昭和十八年經豫第三號ノ二二七ニ修鍊者ノ給與ニ關シテハ昭和十八年經給第一九一號ニ依ルモノトス

三 修鍊要領ハ別途醫務局長ヨリ通牒ノ健民修鍊所修

鍊要項ニ依ルモノトス

四 其ノ他ノ事項ニ關シテハ昭和十八年兵備四第一二四號ニ依ルモノトス

(別紙添)

〇 辭 令

〇昭和十九年三月二十四日

臺北州警部	國井 敏彦
臺南州警部	大場 大輔
高雄州警部	阿 部 梓
新竹州警部	菊 永 泰藏
同	原 田 壽雄
臺北州警部	谷 口 高市
同	富 本 免
臺中州警部	内 藤 由光
花蓮港廳州警部補	室 塚 勝司
臺南州巡查部長	立 山 三代吉
新竹州巡查部長	内 海 文二
同	中 川 章

(各通)

花蓮港廳巡查部長 大窪 榮武

任海軍警部
給五級俸

臺東廳警部 貞包 英男

臺中州警部補 蘭牟田 偵二

新竹州警部補 江川 淨

臺中州警部補 中村 庄三

臺南州警部補 田代 友一

(各通)

同 勝 元 行

臺北州警部補 岡野 勝巳

同 井上 良輔

臺南州警部補 高橋 清太郎

臺北州警部補 井中 正男

高雄州警部補 永田 久七

任海軍警部

給六級俸

○昭和十九年五月二十五日

裁判所書記 石栗 雅男

任海軍書記

給五級俸

任海軍書記

給六級俸

大藏屬 平井 英男

任海軍書記

給月俸七拾圓

同 榑 勝 麿

(各通)

海軍警査 國場 長昌

任海軍警部

給四級俸

木原 鈺次

(各通)

鑛山監督局技手 西田 清一

任海軍技手

給七級俸

渡邊 作藏

海軍警部 國井 敏彦

同 大場 大輔

同 阿部 大梓

同 菊永 泰藏

同 原田 壽雄

同 谷口 高市

同 富本 勉

海軍公報(部内限) 第四千七百一號 昭和十九年五月三十日

七九一

0853

吳海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	竹内博男
(各通)	同	深谷茂男
佐伯海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	櫛直敏
舞鶴海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	堀井亨
(各通)	同	間瀬倫一
佐世保海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	常友正司
(各通)	同	星野正雄
佐世保海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	矢田晃
(各通)	同	中原壽皎
館山海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	小林茂彌
(各通)	同	横尾桂三
高雄警備府ニ配屬ヲ命ス	同	高畑武夫
鎮海海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	岩見敏二
	同	西明五郎
大湊海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	佐渡次郎
父島海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	武本正敏
第八〇一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	工藤祐一
(各通)	同	八十島秋雄
鹿島海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	和才哲夫
(各通)	同	北川宏
北浦海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	中野真吾
(各通)	同	松垣俊一
第二柯和海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	吉田一衛
大津海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	野村希彦
	同	服部修三
	同	織茂領
	同	藤川忠男

海軍公報(部内限) 第四千七百一號 昭和十九年五月三十日

七九三

0855

海軍豫備學生	松本美喜男
(各通)	櫻田 譽
詫間海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
(各通)	佐々木 宏
同	田 辺 呻
詫間海軍航空隊天草分遣隊ニ配屬ヲ命ス	同
(各通)	重清 佐久馬
同	橋本 光榮
詫間海軍航空隊福山分遣隊ニ配屬ヲ命ス	同
堀口 昌太	同
大村海軍航空隊濟洲島分遣隊ニ配屬ヲ命ス	同
(各通)	油井長四郎
同	島田 勇二
谷田部海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
池田 武徳	同
名古屋海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
堤 英夫	同
名古屋海軍航空隊岡崎分遣隊ニ配屬ヲ命ス	同
栗村 道雄	同
博多海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
第二郡山海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
(各通)	高野 次郎
同	赤池 香
出水海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
(各通)	栗原 英夫
同	井上 恒男
築城海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
(各通)	河野 恭介
同	戸原 駿二
築城海軍航空隊富高分遣隊ニ配屬ヲ命ス	同
馬場 敬	同
築城海軍航空隊富高分遣隊ニ配屬ヲ命ス	同
田中 茂	同
(各通)	土田 傑士
同	岡本 勇藏
同	守屋 隆輔
第三〇二海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
太田 賢三	同
第二十二航空戰隊司令部ニ配屬ヲ命ス	同
水野 忠	同
第二五一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同
篠田 竹雄	同
第二〇三海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同

0856

第一南遣艦隊司令部ニ配屬ヲ命ス	同	森 誠一郎
第三三一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	松田 廣吉
第二五四海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	牧野 茂
第二〇二海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	佐々木 正直
第七五三海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	種田 清
第二十六航空戰隊司令部ニ配屬ヲ命ス	同	松井 傳
(各通)	同	吉田 節次
第二六五海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	與石 綠郎
(各通)	同	村田 重樹
第二十七航空戰隊司令部ニ配屬ヲ命ス	同	鷺尾 晃丸
第九〇二海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	中島 英之助
第三二二海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	平野 誠一郎
第二十八航空戰隊司令部ニ配屬ヲ命ス	同	五十嵐 晴恒
第五〇三海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	黒田 祥二郎
第二五三海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	杉原 弘
(各通)	同	伊藤 信
第六三四海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	坂村 豊
第二五六海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	劍吉 宗一
第七〇五海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	榊原 芳雄
第一〇八一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	小泉 舜
第一〇〇一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	神川 恭一
第九〇一海軍航空隊ニ配屬ヲ命ス	同	工藤 善三

0857

海軍公報(部内限)第四千七百一號 昭和十九年五月三十日

七九五

海南海軍特務部附ヲ命ス

海軍書記 石栗 雅男

ボルネオ民政部附ヲ命ス

同 平井 英男

小スンダ民政部附ヲ命ス

同 榎 勝 麿

第二十二特別根據地隊附ヲ命ス

海軍警部 國場 長昌

第二十一特別根據地隊附ヲ命ス

同 木原 鈿次

(各通)

海軍技手 西田 清一

海南海軍特務部附ヲ命ス(以上三十五回同)

同 渡邊 作藏

○ 雜 款

○ 轉官

海軍技手兼内務技手伊藤南海夫ハ五月十九日内務技手ニ轉官セリ

○ 失官

○正誤
二月二十一日附海軍公報(部内限)二二五頁令達欄上段「官房設第四一〇號」ハ「官房設第二八號」ノ誤

0858

(別紙)

(昭和十九年五月三十日海軍公報(部内限))

昭和十九年度 要鍛錬者年齢別、身長別、體重胸圍判定 規準表

身長(釐)	16年未滿		17年未滿		18年未滿		18年以上	
	體重(疋)	胸圍(釐)	體重(疋)	胸圍(釐)	體重(疋)	胸圍(釐)	體重(疋)	胸圍(釐)
134.0 — 136.9	29.7	65.4						
137.0 — 139.9	31.2	66.9						
140.0 — 142.9	32.8	68.2						
143.0 — 145.9	34.8	69.7	35.6	70.7				
146.0 — 148.9	36.8	71.0	37.9	72.7	40.9	75.4		
149.0 — 151.9	39.0	72.4	40.3	74.0	43.2	76.8	44.3	78.0
152.0 — 154.9	41.1	73.8	42.2	75.0	45.2	78.0	46.1	78.9
155.0 — 157.9	43.2	74.9	44.2	76.3	46.9	78.8	47.9	79.6
158.0 — 160.9	45.4	76.0	46.2	77.4	48.5	79.5	49.5	80.3
161.0 — 163.9	47.4	77.3	48.3	78.3	50.1	80.1	51.0	80.8
164.0 — 166.9	49.0		50.0	79.1	51.9	80.8	52.6	81.4

0859

——— ハ海軍志願者體重検査規格ヲ示ス

——— ハ海軍生徒志願者身體検査等位Cヲ示ス